

予算特別委員会資料

令和6年度 一般会計予算（環境局所管分）について

1	歳入予算額	2 P
2	歳出予算額	3 P
3	債務負担行為	4 P
参考	環境局 令和6年度 主要事業	5 P



環境局

令和6年度 一般会計当初予算（環境局所管分）について

1 歳入予算額

（単位：千円）

款	項	目	節	令和6年度 当初予算額 (A)	令和5年度 当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B)
16	1	-	- 環境費負担金	0	1,800	▲ 1,800
17	1	4	1 環境使用料	2,086	2,145	▲ 59
	2	4	1 環境手数料	3,408,684	3,508,165	▲ 99,481
			産業廃棄物収集運搬業許可申請 等手数料	29,501	28,103	1,398
			ごみ処理手数料	3,332,283	3,430,773	▲ 98,490
			し尿処理手数料	46,900	49,289	▲ 2,389
18	2	4	1 環境費補助金(国)	8,351,479	3,288,638	5,062,841
	3	4	1 環境費委託金(国)	29,116	30,303	▲ 1,187
19	2	4	1 環境費補助金(県)	13,645	11,494	2,151
	3	4	1 環境費委託金(県)	391	391	0
20	1	1	1 土地貸付収入	22,072	21,573	499
		2	2 建物貸付収入	9,648	9,267	381
	3	1	1 基金運用収入	45	53	▲ 8
	6	1	1 施設命名権収入	1,000	1,000	0
21	1	3	1 環境費寄附金	23,000	69,400	▲ 46,400
22	1	4	1 市民太陽光発電所特別会計繰入金	3,000	5,000	▲ 2,000
	2	4	1 環境保全基金繰入金	32,954	40,711	▲ 7,757
	16	1	1 SDGs未来基金繰入金	92,050	59,200	32,850
24	1	1	3 環境費延滞金	10	10	0
	3	-	- 環境産業融資貸付金元利収入	0	486,000	▲ 486,000
			- つり銭準備貸付金収入	0	30	▲ 30
	4	3	1 環境費受託事業収入	25,000	24,000	1,000
	6	4	16 環境費雑入	3,785,269	4,401,884	▲ 616,615
25	1	4	1 環境債	16,779,600	6,474,100	10,305,500
歳入合計				32,579,049	18,435,164	14,143,885

2 歳出予算額

(単位：千円)

款 項 目	令和6年度 当初予算額 (A)	令和5年度 当初予算額 (B)	増減額 (A)－(B)
5款 環 境 費	39,602,919	24,573,292	15,029,627
5 款 1 項 1 目 費 職 員 費	3,142,542	3,168,611	▲ 26,069
5 款 2 項 費 環 境 費	36,460,377	21,404,681	15,055,696
5 款 2 項 1 目 費 環 境 総 務 費	558,168	530,998	27,170
5 款 2 項 2 目 費 環 境 保 全 費	1,182,457	1,631,203	▲ 448,746
5 款 2 項 3 目 費 ご み 処 理 費	4,539,124	4,359,703	179,421
5 款 2 項 4 目 費 し 尿 処 理 費	312,586	310,910	1,676
5 款 2 項 5 目 費 工 場 費	5,348,918	5,419,679	▲ 70,761
5 款 2 項 6 目 費 環 境 施 設 建 設 費	24,519,124	9,152,188	15,366,936
歳 出 合 計	39,602,919	24,573,292	15,029,627

3 債務負担行為（当該年度提出に係る分）

（単位：千円）

事 項	限度額	当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳		
		期 間	金 額	国県支出金	地方債	一般財源
環境パトロール車リース経費	900	自 令和 7年度 至 令和 8年度	900			900
公用車リース経費（エコタウンセンター業務）	2,400	自 令和 7年度 至 令和10年度	2,400			2,400
公用車における燃料電池自動車普及事業	2,500	自 令和 7年度 至 令和10年度	2,500			2,500
ごみ収集指定袋制実施事業	252,400	令和 7年度	252,400			252,400
家庭ごみ及びし尿処理手数料システムの改修事業	90,000	令和 7年度	90,000			90,000
フックロール車リース経費	1,000	自 令和 7年度 至 令和 8年度	1,000			1,000
一般廃棄物情報管理システム経費	51,200	自 令和 7年度 至 令和11年度	51,200			51,200
工場ごみ受入業務委託経費	260,500	自 令和 7年度 至 令和 9年度	260,500			260,500
日明工場維持管理事業	※1	自 令和 7年度 至 令和26年度	※1			※1
新門司工場基幹的設備改良事業	206,900	令和 7年度	206,900	62,200	126,900	17,800
皇后崎工場機器整備事業	182,700	令和 7年度	182,700		136,800	45,900
新門司工場機器整備事業	110,500	令和 7年度	110,500		82,800	27,700
新門司工場機器整備事業	10,800	自 令和 7年度 至 令和 8年度	10,800		8,100	2,700
日明工場建設事業	※2	自 令和 7年度 至 令和26年度	※2			※2

※1 新日明工場整備運営事業契約における運営・維持管理業務費に物価変動による増減額並びに当該増減額に係る消費税及び地方消費税並びに消費税及び地方消費税の税率の引上げによる増額分を加算した額

※2 139,200千円に物価変動による増減額及び整備割賦払金に係る金利変動に伴う増減額並びに当該増減額に係る消費税及び地方消費税並びに消費税及び地方消費税の税率の引上げによる増額分を加算した額

参 考 環 境 局 令 和 6 年 度 主 要 事 業

(単位：千円、㊦：令和6年度新規事業)

1 「稼げるまち」の実現

環境と経済の好循環によるグリーン成長を先導する世界のリーディング都市を目指し、風力発電、水素などの供給・利活用拠点化、社会課題に対応した新たなリサイクル事業などの循環経済の創出などに取り組む。

これにより、グリーン産業の更なる発展を図るとともに、再エネ電力など様々な環境価値の企業への提供による国際競争力の強化や、環境分野で新たな挑戦を目指す企業の集積を図る「北九州グリーンインパクト」を推進する。



(1) 「北九州グリーンインパクト」関連事業 【予算額：917,958千円】

㊦環境スタートアップ集積促進事業

【予算額：7,000千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630】

北九州市の強みである環境分野において、スタートアップ企業に対して、エコタウン事業等で培った本市の充実した事業支援施策を紹介するとともに、本市での事業展開を支援することにより、環境スタートアップの集積につなげる。

㊦サーキュラーエコノミー基盤形成促進関連事業

【予算額：87,500千円 担当課：環境イノベーション支援課 582-2630、
産業廃棄物対策課 582-2177】

国内外で高評価のエコタウン事業の更なる発展に向け、蓄電池やプラスチック、太陽光発電パネル等のリサイクルシステムの構築など新たなビジネスの創出に取り組むとともに、製造業等の動脈産業にリサイクル原料を供給する動静脈連携の推進や、リサイクル設備の導入を促進する補助制度の創設等を行う。

○水素拠点化推進事業

【予算額：51,000千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

産学官の協議会において策定中の響灘臨海部を中心とした「水素拠点形成計画」に基づき、製造業等における水素利用プロジェクトの更なる具体化と、事業可能性調査・技術開発の補助金支援を行うことで、地元企業の脱炭素化と国際競争力の強化、新たな産業集積につなげる。

⑨カーボンニュートラル支援プログラム

【予算額：4,000千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

市内企業の支援や企業誘致のインセンティブ創出のため、再生可能エネルギー電力の他、様々な環境価値を供給する新たな支援策を検討する。企業ニーズをきめ細かく把握し、産官連携で支援する仕組みの構築を目指すとともに、このような取組を市内外でPRしていく。

○再エネ普及推進関連事業

【予算額：768,458千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した公共施設・市内企業への第三者所有方式等による再エネ等の普及を推進する。

また、再エネ主力電源化の切り札と言われる洋上風力発電において、「北九州市風力発電人材育成連絡会」の事業を通じた産学官の連携による人材の育成・確保に引き続き積極的に取り組む。

加えて、エコタウンセンターにおける展示物改修など、「北九州グリーンインパクト」を踏まえたリニューアルの検討を行う。

(2) 「環境国際ビジネスの拠点化」の推進 【予算額：32,584千円】

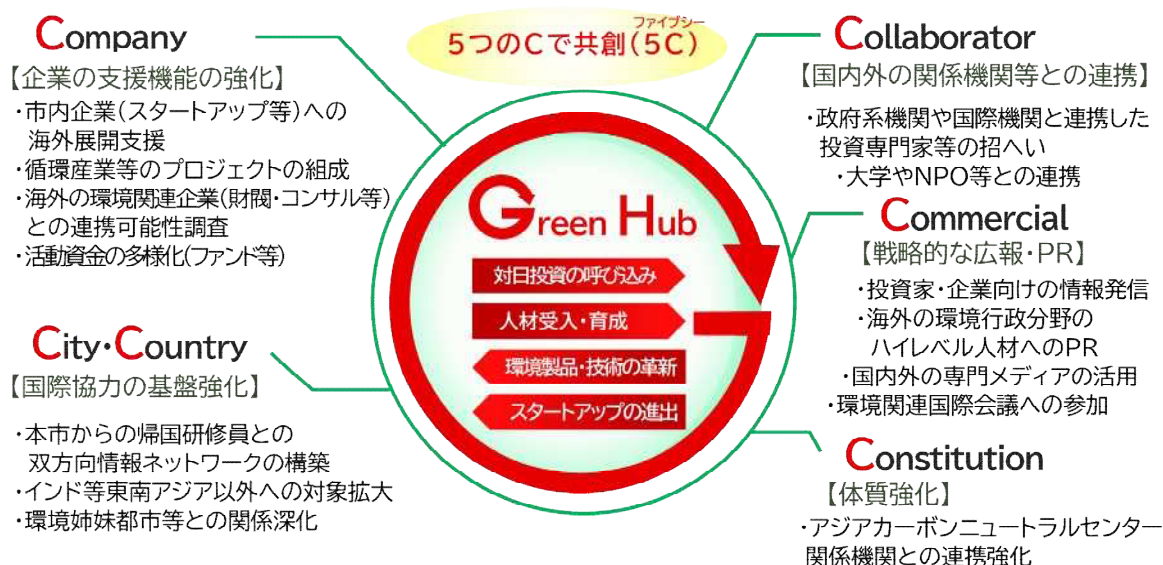
⑨アジア・グリーン共創ハブ推進事業

【予算額：32,584千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

環境国際協力や環境国際ビジネスの結節点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を目指すため、国内外の環境関連企業、投資家、留学生等とビジネス面で接点を強化し、企業の技術・製品・サービスの輸出に加えて、対日投資を含めた取組を展開する。

アジア・グリーン共創ハブ推進事業の取組内容

～“ローカル”な支援から世界をつなぐ“ハブ”へ～



2 「彩りあるまち」の実現

北九州の豊かな自然環境の情報発信や保全を通じて、生物多様性の回復を目指す「ネイチャーポジティブ」に取り組むとともに、集中的なまち美化対策の実施、環境人材の育成等により、人や企業が集まりたくなる「まち」の実現に貢献する。

⑨ ネイチャーポジティブ発信事業

【予算額：5,000千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市民に北九州市の自然を楽しんでもらうこと、ネイチャーポジティブへの理解を深めてもらうこと及び都市ブランドの向上等を目指し、本市の自然環境等に関する全ての情報を分かりやすく発信するポータルサイトを構築する。

⑩ 美しいまちづくり Re▶トライ プロジェクト

【予算額：2,000千円 担当課：業務課 582-2180】

北九州市に関わる全ての人が日常の街並みを美しいと感じられるよう、特にごみの散乱が多い繁華街を中心に、集中的かつ継続的なまち美化対策等を実施する。

○ 環境人財育成事業

【予算額：7,281千円 担当課：環境学習課 582-2784】

市民一人ひとりが環境との関わりを理解し、より良い環境・地域づくりへの意識をもって行動を起こすことのできる環境人財を育むため、「環境首都検定」に取り組む。

3 「安らぐまち」の実現

ごみ焼却工場等の廃棄物処理施設の適切な維持・充実や、大気・水質等の環境保全、不法投棄対策、資源のリサイクル等に取り組むことで、市民に安定かつ効率的な都市インフラを提供する。

○ 環境監視にかかる事業

【予算額：100,792千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市民の快適で健康的な生活環境を維持し、環境保全を一層推進するため、環境法令に基づき、水質汚濁や騒音・振動の監視測定などを定期的に行うとともに、市内18か所の測定局で光化学オキシダントやPM_{2.5}などの大気の状態を常時監視して、万一の高濃度時には注意報等の発令を行う。

○ 工場・事業場監視事業

【予算額：10,589千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法や水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守状況を監視するとともに、環境管理の取組の促進を図る。また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行う。

○地域拠点を活用したリサイクル推進事業

【予算額：177,303千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

市民センターを活用した充電式電池、廃食用油等の資源回収や、地域団体による古紙・古着回収などの環境活動を支援し、家庭ごみのリサイクルを推進する。

○事業系ごみ対策事業

【予算額：9,230千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

他の政令指定都市に比べて多い事業系ごみの減量リサイクルを推進するため、事業系ごみの内容物の調査や違反者の指導等に取り組む。

○新日明工場建設事業

【予算額：19,321,934千円 担当課：施設課 582-2184】

老朽化が進行している日明工場を更新し、一般廃棄物の安定処理を継続するとともに、大規模災害への対応、温室効果ガスの削減、広域処理等の課題に取り組む。

○新門司工場基幹的設備改良事業

【予算額：2,561,881千円 担当課：施設課 582-2184】

老朽化による機能低下に対処するため、効率的かつ効果的な基幹的設備の改良・機器類の更新等を行い、施設全体の延命化を図るとともに、CO₂削減効果のある機器の導入や発電効率の向上を図る。

○本城資源化センター整備事業

【予算額：1,457,940千円 担当課：施設課 582-2184】

老朽化した本城かんびん資源化センターを不燃系粗大ごみの破砕・金属回収機能を併せ持つ施設として再整備することで、将来にわたり安定したリサイクル体制を維持する。